令和２年第Ⅰ回　短答式試験　全体講評

会計力の限界突破！
アカ凸®

(1) 科目別講評（令和元年第Ⅱ回との比較）

企　業　法		肢の７割以上が過去問の焼き直し。一問一答よりも過去問対策が吉。
管理会計論	計算	問題８以外の８点問題について、勇気を持って完全に捨てた受験生が勝者となる。
	理論	原価計算基準からの取りこぼしは命取り。５問は死守したいところ。
監　査　論		問題 13 や 19 など、正誤判定に疑義が残る難問もあるが、全体的には良問。
財務会計論	計算	計算分量が多く、集計に時間がかかる。みなし決算日は反則。辛い。
	理論	適用指針からの細かい出題は受験生にとっては厳しい。泣きたい。

(2) 合格ラインボーダー予想

科　　目		配 点	ボーダー予想	
企　業　法		100 点	70 点	
管理会計論	計算	60 点	29 点	54 点
	理論	40 点	25 点	
監　査　論		100 点	65 点	
財務会計論	計算	128 点	64 点	112 点
	理論	72 点	48 点	

以上より、合格ラインのボーダーは

301 点（60.2%）

と予想します。つまり、

60%（300 点）or 61%（305 点）

ではないかと予想します。

(3) 松本講師の一点予想

財務会計論の計算が前回（63%）より難化している（体感でΔ3%）ことと、受験者数が増加していること（体感で＋1%）から、合格ラインの個人的な予想は 61%（305 点）です。